

いばらきネットモニター 「茨城県産日本酒」の魅力向上のための基礎調査結果

1 調査目的

「茨城県産日本酒」の認知度等について調査し、性別、年代別などの分析を行うことにより、本県産日本酒の販路開拓に向けた効果的な施策展開を行うための資料とします。

2 結果の概要

- ・茨城県産日本酒に対し「特に印象がない・わからない」と回答した人が全体の46.5%にのぼり、年齢層が低くなるほどその割合が増加する傾向がみられた。
- ・お酒を飲まないと回答した人の割合は、全体平均で24.3%を占め、若年層（20～30代）では約30%と平均より高い結果となった。
- ・日本酒の購入時に重要視する情報は、「味」、「価格」、「銘柄」が全体的に必要ななかで、若年層（20～30代）は、「ラベルデザイン」や「味」を重視する傾向がみられ、若年層では日本酒の選び方が従来から変化していることが推測される。

【問1】

あなたは、20歳以上ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

- ・はい：835人（99.6%）
- ・いいえ：3人（0.04%）

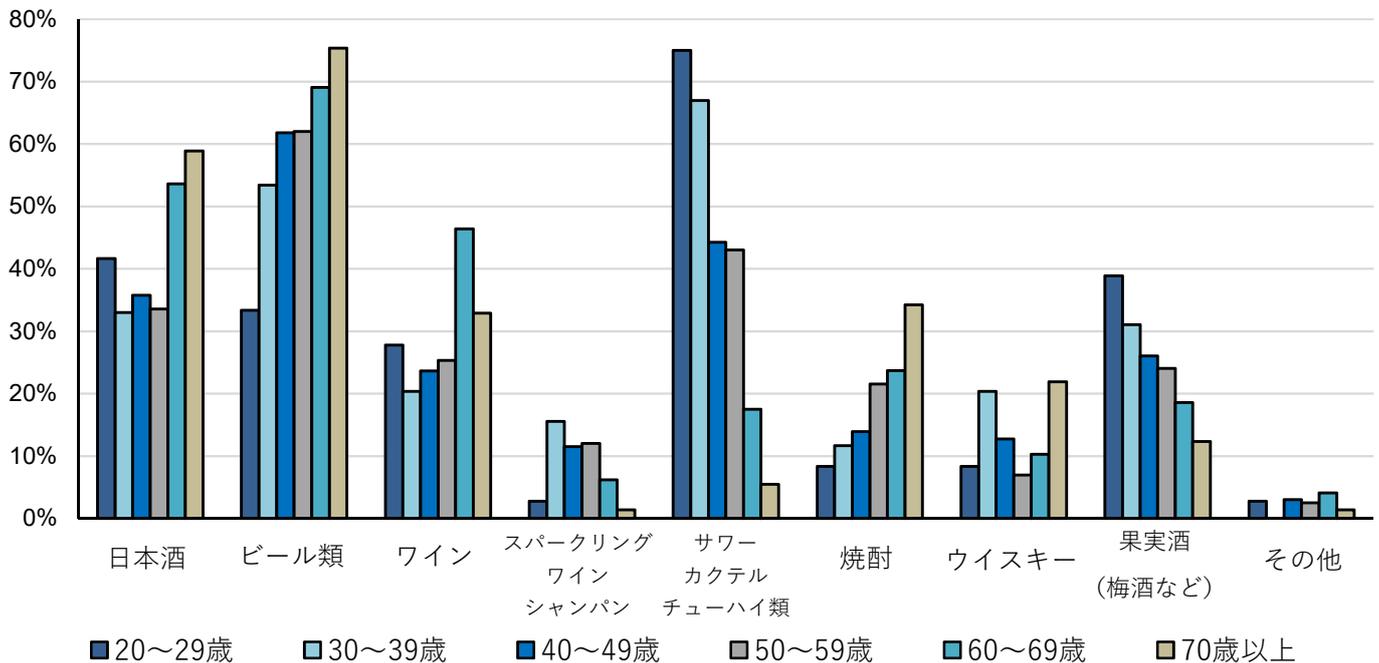
⇒問2以降は、20歳以上の方（835人）に回答いただきました。

【問2】（普段よく飲むお酒の種類）

あなたが、普段よく飲むお酒は何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

<年代別よく飲むお酒の種類割合>

(n=632)

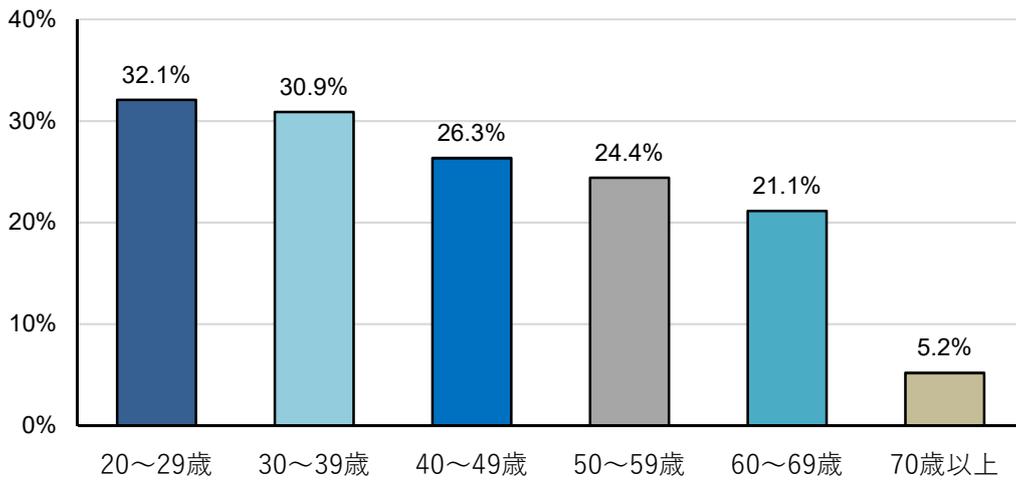


	日本酒	ビール類	ワイン	スパークリング グワイン シャンパン	サワー カクテル チューハイ類	焼酎	ウイスキー	果実酒 (梅酒など)	その他
20～29歳	41.7%	33.3%	27.8%	2.8%	75.0%	8.3%	8.3%	38.9%	2.8%
30～39歳	33.0%	53.4%	20.4%	15.5%	67.0%	11.7%	20.4%	31.1%	0.0%
40～49歳	35.8%	61.8%	23.6%	11.5%	44.2%	13.9%	12.7%	26.1%	3.0%
50～59歳	33.5%	62.0%	25.3%	12.0%	43.0%	21.5%	7.0%	24.1%	2.5%
60～69歳	53.6%	69.1%	46.4%	6.2%	17.5%	23.7%	10.3%	18.6%	4.1%
70歳以上	58.9%	75.3%	32.9%	1.4%	5.5%	34.2%	21.9%	12.3%	1.4%

※「飲まない」と回答した人以外の人数（632人）を100%として算出

<年代別お酒を飲まない人の割合>

(n=203)



- 全体の回答から、「日本酒」は、「ビール類」、「サワー・カクテル・チューハイ類」に次いで飲まれている傾向がみられた。
- 回答者を年齢層別にクラスタリングし、分析を行った結果、「サワー・カクテル・チューハイ類」や「果実酒等」は、若年層（20～30代）になるほど選ばれやすい傾向がみられた。
- 「飲まない」と回答した人の割合は、全体平均で24.3%を占めた。年齢層別にクラスタリングすると、若年層になるほど増加する傾向がみられた。
- 「その他」（9.5%）として、次のような意見が挙げられた。
 - ・ノンアルコール飲料

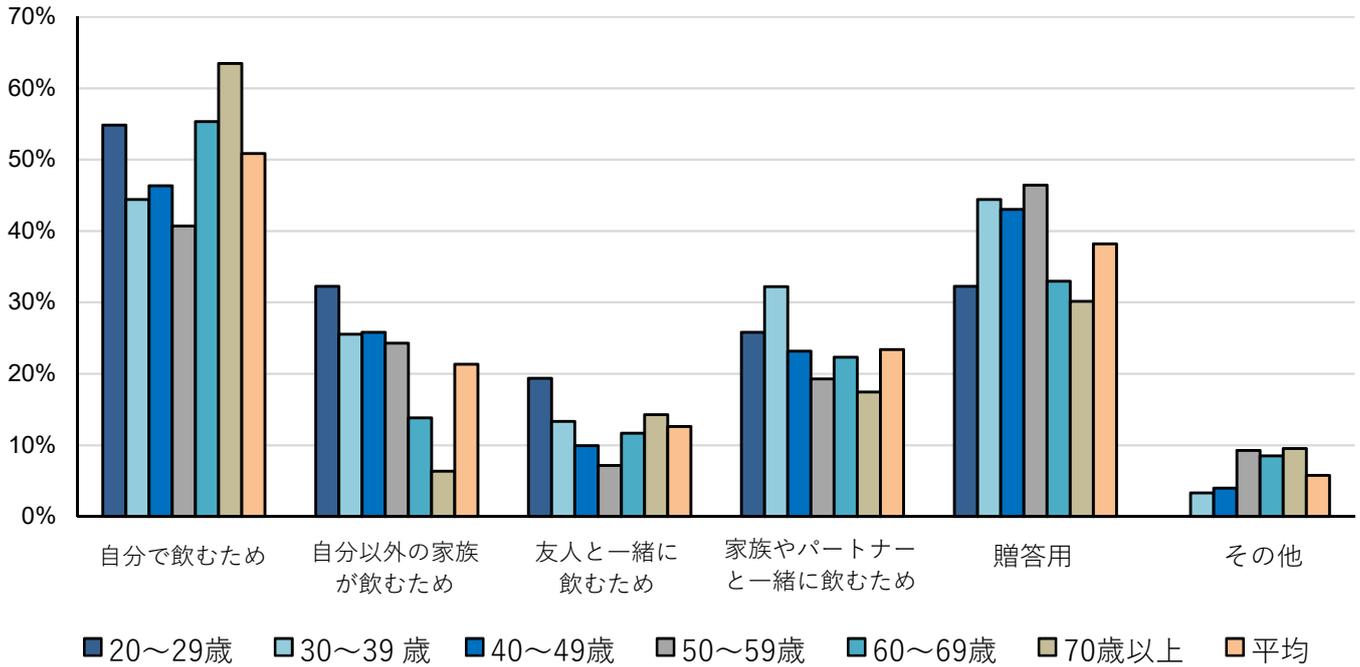
など、15件のご意見がありました。

【問3】（日本酒の購入目的）

あなたは、直近1年間の間にどのような目的で日本酒を購入しましたか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

<年代別日本酒購入目的の割合>

(n=569)

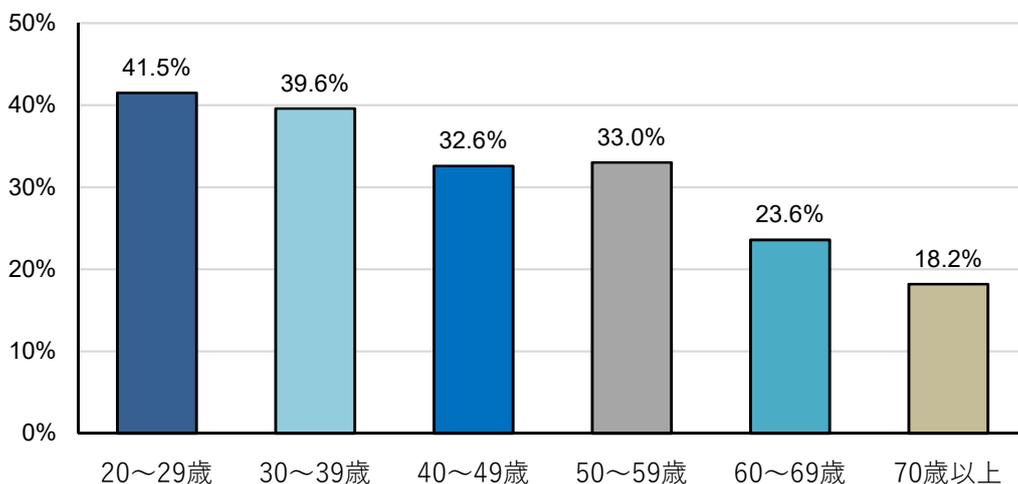


※「購入していない」と回答した人以外の人数（569人）を100%として算出

	自分で飲むため	自分以外の家族が飲むため	友人と一緒に飲むため	家族やパートナーと一緒に飲むため	贈答用	その他
20~29歳	54.8%	32.3%	19.4%	25.8%	32.3%	0.0%
30~39歳	44.4%	25.6%	13.3%	32.2%	44.4%	3.3%
40~49歳	46.4%	25.8%	9.9%	23.2%	43.0%	4.0%
50~59歳	40.7%	24.3%	7.1%	19.3%	46.4%	9.3%
60~69歳	55.3%	13.8%	11.7%	22.3%	33.0%	8.5%
70歳以上	63.5%	6.3%	14.3%	17.5%	30.2%	9.5%
平均	50.9%	21.4%	12.6%	23.4%	38.2%	5.8%

<年代別お酒を購入していない人の割合>

(n=266)



- 1年以内に日本酒を購入した人は、全体平均で68.1%だった。
- 全体の回答から、「自分で飲むため」、「贈答用」、「家族やパートナーと飲むため」に日本酒を購入する傾向がみられた。
- 回答者を年齢層別にクラスタリングし、分析を行った結果、30～50代は、その他の年齢層と比較して、贈答用に日本酒を買う傾向がみられた。
- 「購入していない」と回答した人の割合は、全体平均で31.9%を占めた。年齢層別にクラスタリングすると、若年層（20～30代）が約40%と、他の年齢層と比較し高く、年齢層が高くなるほど低くなる傾向がみられた。
- 「その他」（4.3%）として、次のような意見が挙げられた。
 - ・料理用（料理酒）
 - ・神事・祭事

など、36件のご意見がありました。

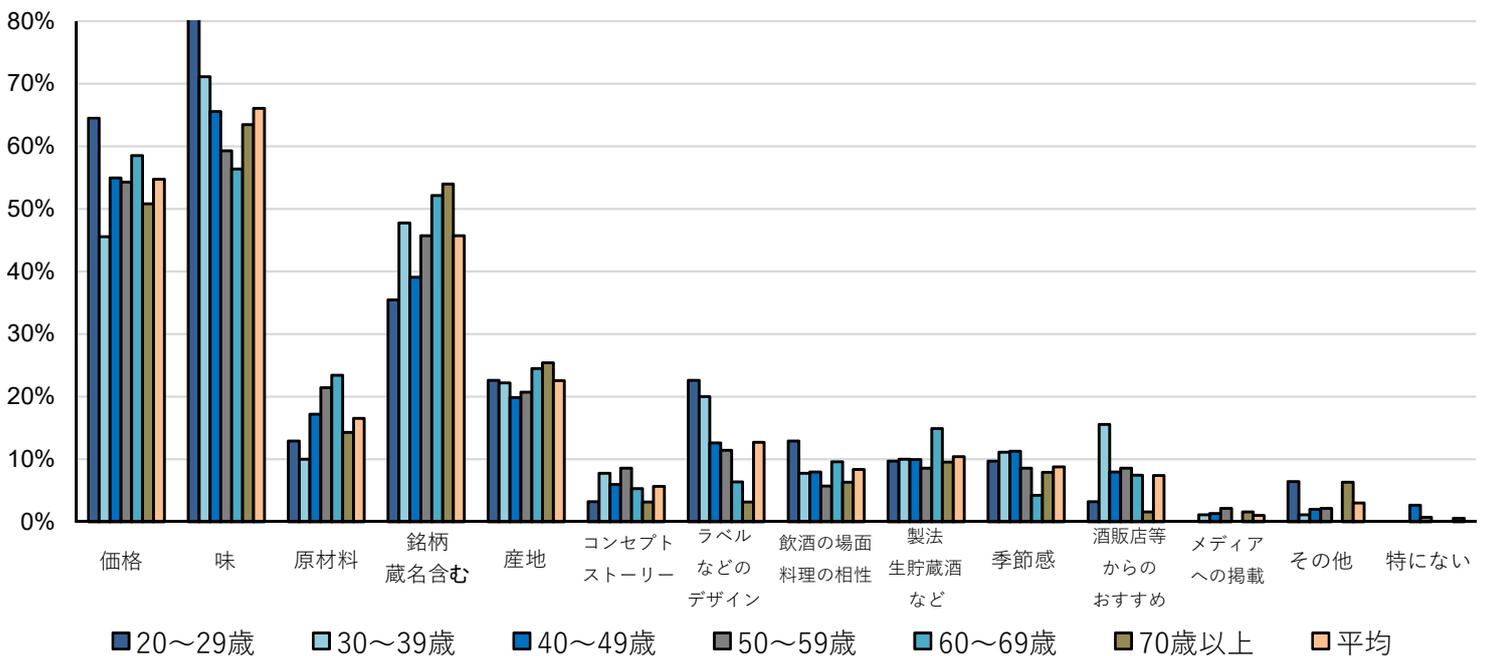
【問4】（購入時に重要視すること）

（問3で「購入していない」以外を回答した方にお伺いします）

あなたが日本酒を購入する際、特に重要視したことは何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

<年代別日本酒購入時に重要視したことの割合>

(n=569)



※問3で「購入していない」と回答した人以外の人数（569人）を100%として算出

	価格	味	原材料	銘柄 (蔵名含む)	産地	コンセプト ストーリー	ラベルなどの デザイン	飲酒の場面 料理との相性	製法 (生貯蔵酒等)	季節感	酒販店等 の おすすめ	メディアへの 掲載	その他	特にない
20～29歳	64.5%	80.6%	12.9%	35.5%	22.6%	3.2%	22.6%	12.9%	9.7%	9.7%	3.2%	0.0%	6.5%	0.0%
30～39歳	45.6%	71.1%	10.0%	47.8%	22.2%	7.8%	20.0%	7.8%	10.0%	11.1%	15.6%	1.1%	1.1%	0.0%
40～49歳	55.0%	65.6%	17.2%	39.1%	19.9%	6.0%	12.6%	7.9%	9.9%	11.3%	7.9%	1.3%	2.0%	2.6%
50～59歳	54.3%	59.3%	21.4%	45.7%	20.7%	8.6%	11.4%	5.7%	8.6%	8.6%	8.6%	2.1%	2.1%	0.7%
60～69歳	58.5%	56.4%	23.4%	52.1%	24.5%	5.3%	6.4%	9.6%	14.9%	4.3%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%
70歳以上	50.8%	63.5%	14.3%	54.0%	25.4%	3.2%	3.2%	6.3%	9.5%	7.9%	1.6%	1.6%	6.3%	0.0%
平均	54.8%	66.1%	16.5%	45.7%	22.5%	5.7%	12.7%	8.4%	10.4%	8.8%	7.4%	1.0%	3.0%	0.6%

- 問3で「購入していない」と回答した方以外（計 569 名）を対象とした。
- 全体の回答から、「味」、「価格」、「銘柄」を購入時に重視している傾向がみられた。
- 特に、若年層（20～30代）は、他の年代と比べて、「ラベルデザイン」や「味」を重視する傾向がみられ、若年層では日本酒の選び方が従来から変化していることが推測される。
- 「その他」（2.3%）として、次のような意見が挙げられた。

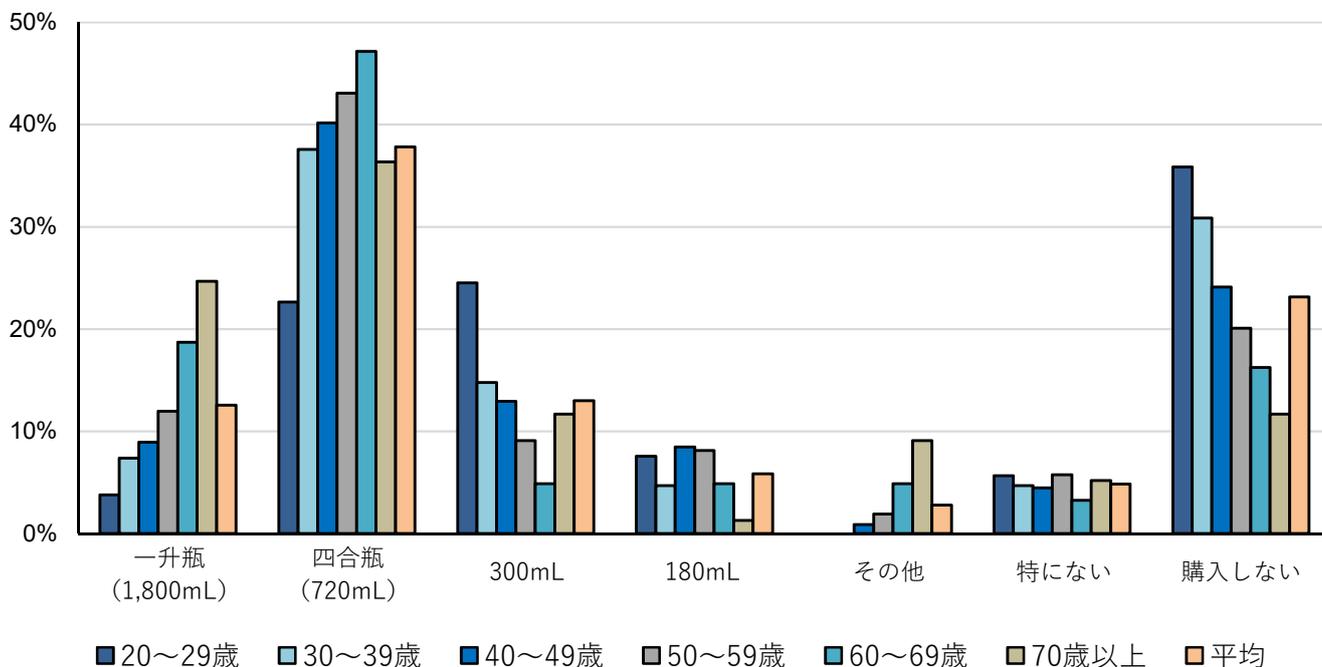
- ・量
- ・知人からの口コミ

など、13件のご意見がありました。

【問5】（日本酒の販売容量）

あなたが日本酒を購入する際、購入しやすいサイズ（容量）は何ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

<年代別日本酒を購入しやすいサイズ（容量）の割合> (n=835)



	一升瓶 (1,800mL)	四合瓶 (720mL)	300mL	180mL	その他	特にない	購入しない
20～29歳	3.8%	22.6%	24.5%	7.5%	0.0%	5.7%	35.8%
30～39歳	7.4%	37.6%	14.8%	4.7%	0.0%	4.7%	30.9%
40～49歳	8.9%	40.2%	12.9%	8.5%	0.9%	4.5%	24.1%
50～59歳	12.0%	43.1%	9.1%	8.1%	1.9%	5.7%	20.1%
60～69歳	18.7%	47.2%	4.9%	4.9%	4.9%	3.3%	16.3%
70歳以上	24.7%	36.4%	11.7%	1.3%	9.1%	5.2%	11.7%
平均	12.6%	37.8%	13.0%	5.8%	2.8%	4.8%	23.1%

- 全体の回答から、日本酒のサイズは、四合瓶（720mL）が最も購入しやすく、次に 300mL が選ばれる傾向がみられた。
- 回答者を年齢層別にクラスタリングし、分析を行った結果、若年層（20～30代）では、四合瓶に並び、300mL サイズを購入しやすいと回答する一方、年齢層が高くなるほど一升瓶の割合が増加する傾向がみられた。
- 問3と合わせて考察すると、四合瓶サイズは、自分で飲むだけでなく、贈答用としても購入しやすいと認識されていることが推測される。
- 「その他」（2.3%）として、次のような意見が挙げられた。
 - ・紙パック（900mL～3L）

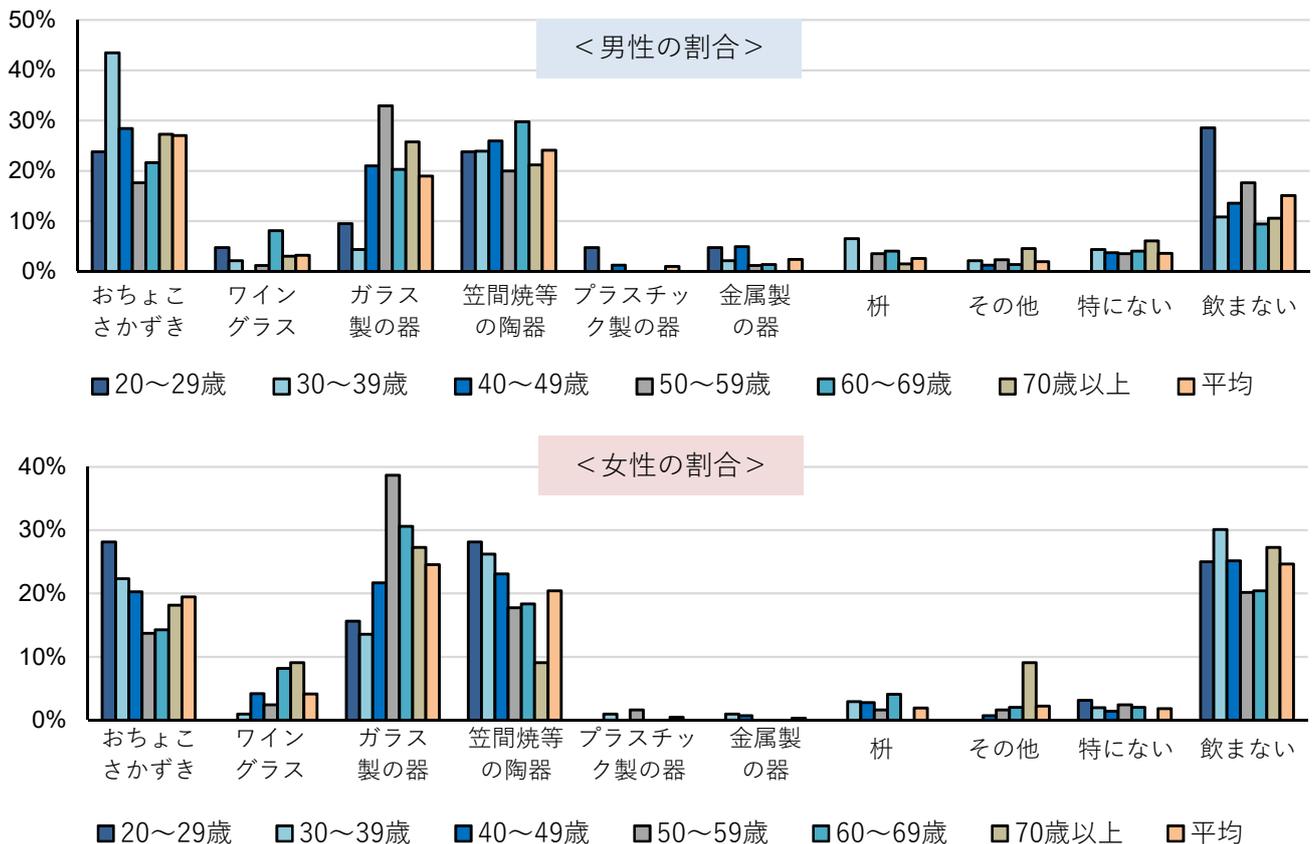
など、19 件のご意見がありました。

【問6】（使用してみたい酒器）

あなたが日本酒を飲む際、使用してみたい酒器は何ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

<年代・男女別使用してみたい酒器の割合>

（男性：n=373、女性：n=462）



- 全体の回答から、日本酒を飲む際、「おちょこさかずき」、「ガラス製」「笠間焼等の陶器」を使用したいとの回答が多かった。
- 「笠間焼等の陶器」に関しては、男性では年齢層別での違いがみられなかったが、女性では若年層（20～30代）になるほど使用したい人の割合が増加する傾向がみられた。
- 「その他」（1.6%）として、次のような意見が挙げられた。
 - ・笠間焼以外の陶器

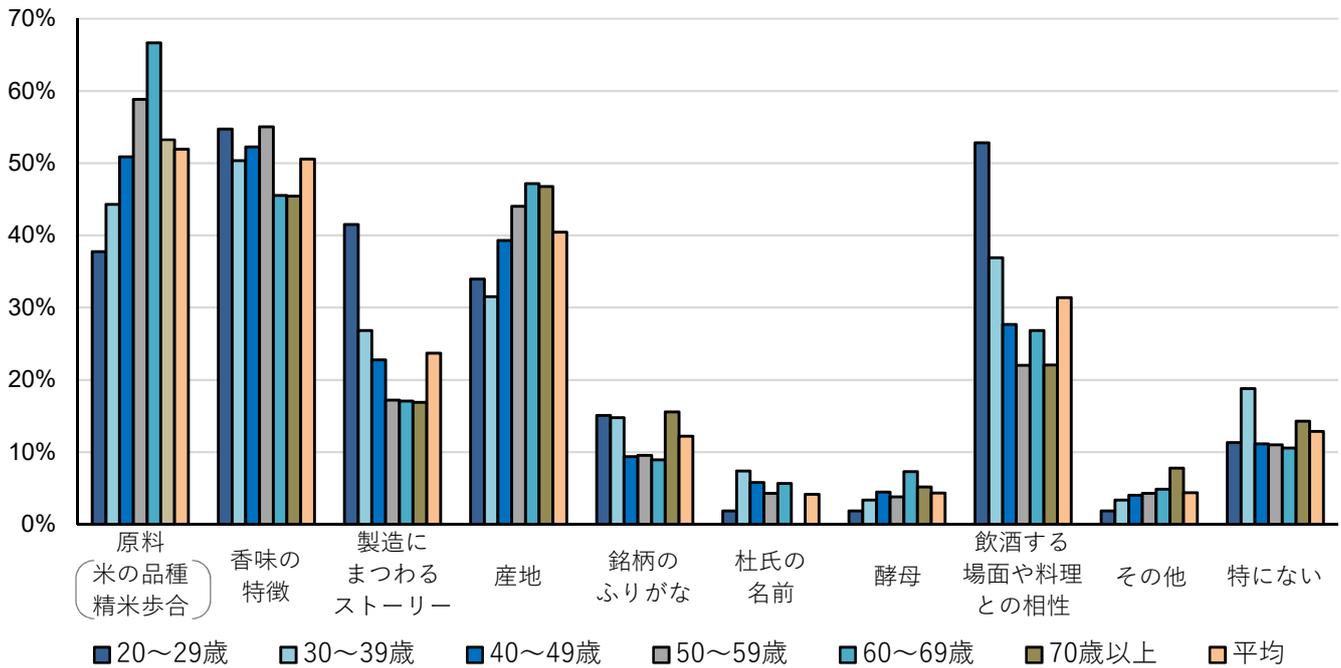
など、13 件のご意見がありました。

【問7】（日本酒のラベルに記載してほしいこと）

あなたが日本酒を購入する際、ラベルにどのような情報が書いてあると買いたくなりますか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

<年代別日本酒のラベルに記載してほしいことの割合>

(n=835)



	原料 (米の品種 精米歩合)	香味の特徴	製造に まつわる ストーリー	産地	銘柄の ふりがな	杜氏の名前	酵母	飲酒する 場面や料理 との相性	その他	特にない
20～29歳	37.7%	54.7%	41.5%	34.0%	15.1%	1.9%	1.9%	52.8%	1.9%	11.3%
30～39歳	44.3%	50.3%	26.8%	31.5%	14.8%	7.4%	3.4%	36.9%	3.4%	18.8%
40～49歳	50.9%	52.2%	22.8%	39.3%	9.4%	5.8%	4.5%	27.7%	4.0%	11.2%
50～59歳	58.9%	55.0%	17.2%	44.0%	9.6%	4.3%	3.8%	22.0%	4.3%	11.0%
60～69歳	66.7%	45.5%	17.1%	47.2%	8.9%	5.7%	7.3%	26.8%	4.9%	10.6%
70歳以上	53.2%	45.5%	16.9%	46.8%	15.6%	0.0%	5.2%	22.1%	7.8%	14.3%
平均	51.9%	50.5%	23.7%	40.5%	12.2%	4.2%	4.3%	31.4%	4.4%	12.9%

○全体の回答から、「原料」、「香味の特徴」、「産地」の情報は、購入者にとって基本情報として必要とされていることが推測される。

○回答者を年齢層別にクラスタリングし、分析を行った結果、若年層（20～30代）では他の年齢層と比較し、「飲酒する場面や料理との相性」、「製造にまつわるストーリー」、「銘柄のふりがな」の情報があると買いやすいと感じる傾向がみられた。

○一方で、年齢層が高くなるほど、「原料」や「産地」情報を求めている傾向もみられた。

○その他の意見では、甘口・辛口など味に関する回答が17件あった他、デザイン3件、純米酒3件等、計36件の回答が得られた。

○「その他」（4.3%）として、次のような意見が挙げられた。

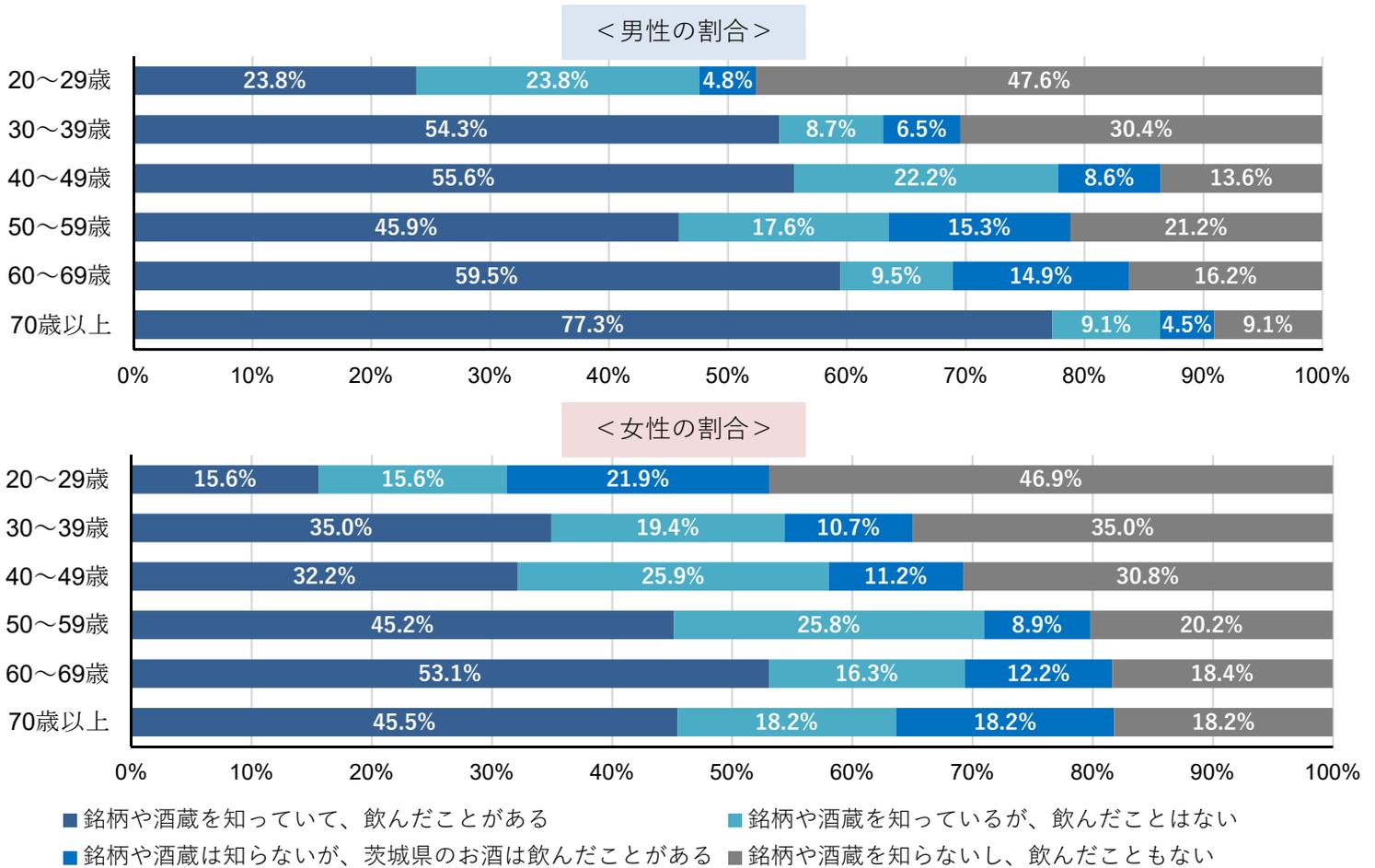
- ・甘口・辛口など味に関すること
- ・デザイン
- ・純米酒

など、36件のご意見がありました。

【問 8】（茨城県産日本酒の認知度）

あなたは、茨城県産日本酒（銘柄や酒蔵）を知っていますか。また、飲んだことはありますか。
次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

（男性：n=373、女性：n=462）



○「銘柄や酒蔵を知っていて飲んだことがある」と回答した人は全体平均で45.9%であるが、男女年齢層別で比較すると、20代男女、女性全般で認知度が低い傾向がみられた。

※ 茨城県産日本酒について

現在、茨城県酒造組合には36歳の酒蔵が加盟しています。茨城県産日本酒について、詳しくはこちらをご覧ください。

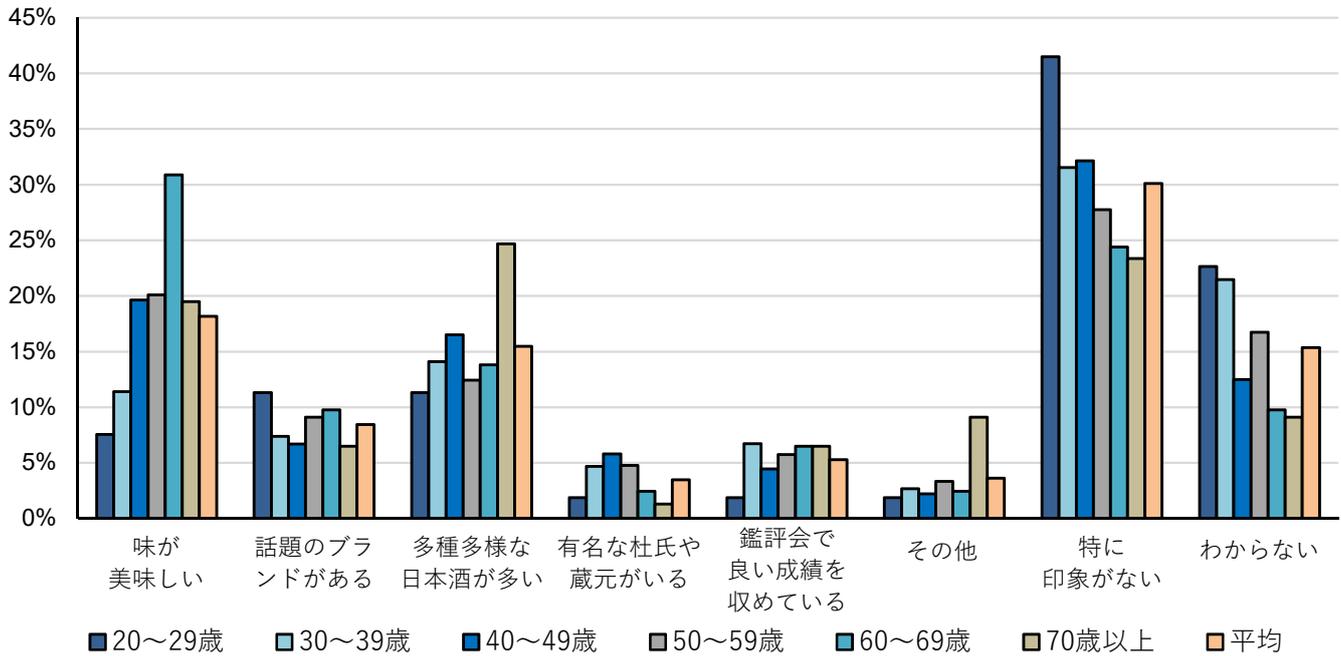
茨城県酒造組合 HP：<http://www.ibaraki-sake.or.jp/member/index.html>

【問9】（茨城県産日本酒のイメージ）

あなたは、茨城県産日本酒に対し、どのようなイメージを持っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

<年代別茨城県産日本酒に対するイメージの割合>

(n=835)



	味が美味しい	話題のブランドがある	多種多様な日本酒が多い	有名な杜氏や蔵元がいる	鑑評会で良い成績を収めている	その他	特に印象がない	わからない
20～29歳	7.5%	11.3%	11.3%	1.9%	1.9%	1.9%	41.5%	22.6%
30～39歳	11.4%	7.4%	14.1%	4.7%	6.7%	2.7%	31.5%	21.5%
40～49歳	19.6%	6.7%	16.5%	5.8%	4.5%	2.2%	32.1%	12.5%
50～59歳	20.1%	9.1%	12.4%	4.8%	5.7%	3.3%	27.8%	16.7%
60～69歳	30.9%	9.8%	13.8%	2.4%	6.5%	2.4%	24.4%	9.8%
70歳以上	19.5%	6.5%	24.7%	1.3%	6.5%	9.1%	23.4%	9.1%
平均	18.2%	8.5%	15.5%	3.5%	5.3%	3.6%	30.1%	15.4%

○全体の回答では、茨城県産日本酒に対し「特に印象がない・わからない」と回答した人が全体の46.5%にのぼる。

○回答者を年齢層別にクラスタリングし、分析を行った結果、「特に印象がない・わからない」と回答した人は、年齢層が低くなるほど増加する傾向がみられた。

○「味が美味しい」「多種多様な日本酒が多い」と回答した人の割合は、それぞれ15～20%程度だった。

○鑑評会の成績や製造者に関しては、全体的な認知度が低いことが推測される。

○「その他」(3.2%)として、次のような意見が挙げられた。

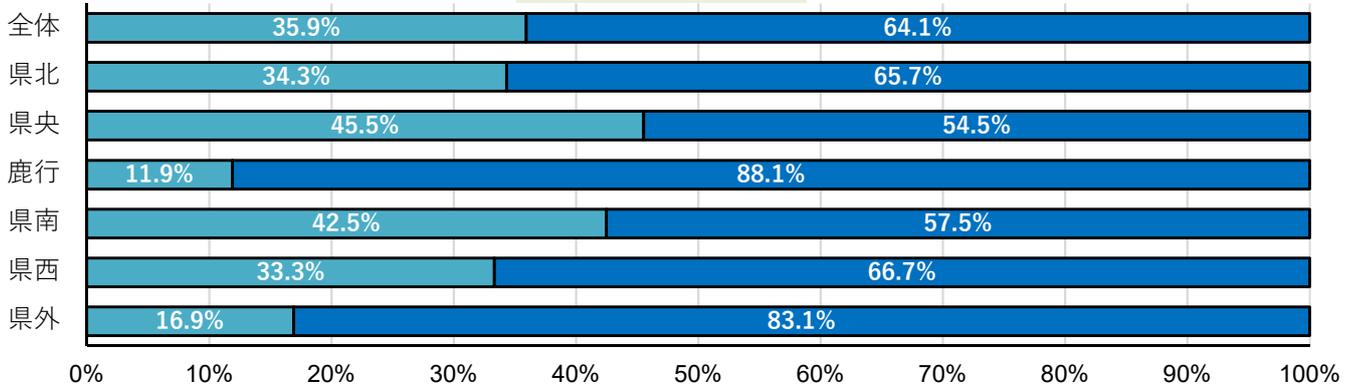
- ・知名度が低い

など、27件のご意見がありました。

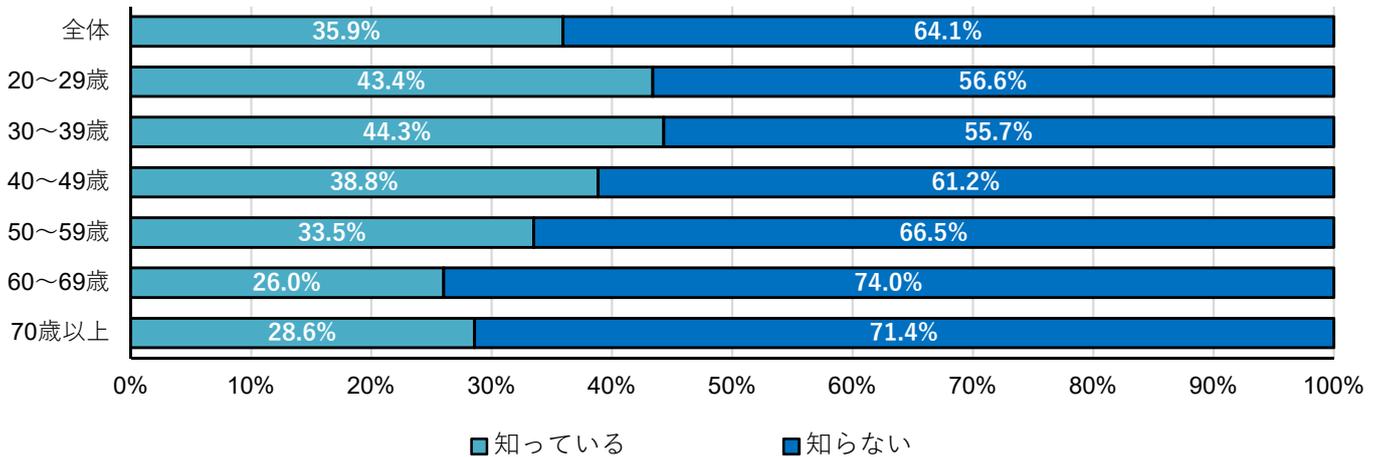
【問10】（「いばらき地酒バー」の認知度）

あなたは、JR水戸駅及びつくばエクスプレスつくば駅改札付近に、茨城県産日本酒が飲める「いばらき地酒バー」があるのを知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。
(n=835)

<地域別の割合>



<年齢層別の割合>



- 全体の回答では、3人に1人がいばらき地酒バーを知っていることがわかった。
- 県央や県南をはじめとする、各店舗の駅の所在する地域の認知度は比較的高い一方、鹿行や県外では著しく低い傾向がみられた。
- 年齢層別でみると、若年層（20～30代）は平均よりも地酒バーを認知していること結果が得られた。

（注）割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入しました。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値が一致しないことがあります。

3 アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

- ◆茨城の地酒の認知度が低いので、SNS等を活用した新たな施策展開を行う。
- ◆若年層の飲酒傾向が把握できたことから、次世代の飲み手を増やす打ち手として本データを活用する。
- ◆県内酒蔵に対しても有益な情報であるため、情報共有を行っていく。

4 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：令和4年5月13日（金）～5月26日（木）

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モニター数：1,187名

回収率：70.6%（838名）

回答者の属性：以下の通り。ただし、百分率表示は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある。

		人数（人）	比率（%）
全体（n）		838	100.0
地域別	県北	67	8.0
	県央	247	29.5
	鹿行	42	5.0
	県南	267	31.9
	県西	67	8.0
	県外	148	17.7
性別	男性	375	44.7
	女性	463	55.3
性・年齢別	16～19歳	3	0.4
	20～29歳	53	6.3
	30～39歳	149	17.8
	40～49歳	224	26.7
	50～59歳	209	24.9
	60～69歳	123	14.7
	70歳以上	77	9.2
職業別	自営業	77	9.2
	会社員	298	35.6
	団体職員	31	3.7
	公務員	39	4.7
	主婦・主夫	189	22.6
	学生	16	1.9
	無職	96	11.5
	その他	92	11.0

(2) 担当課

茨城県産業戦略部技術振興局技術革新課地域産業振興室

電話：029-301-3585 E-mail：shinkou@pref.ibaraki.lg.jp